

化学資源変革を目指した有機合成： 鐵と森林で明るい未来を！

中村 正治 先生

京都大学 化学研究所



日時：令和6年12月2日（月） 14:00～

場所：S8棟 レクチャーホール

中村先生は「何を，何から，どう作る」という合成化学の根本に立ち返りつつ，炭素と鐵という二つの元素に注目し，社会を変えるような触媒を生み出すべく研究を進めていらっしゃいます。中でも，精密有機合成用の鐵触媒の開発，木質資源の有用分子への直接変換を志向した分子触媒の開発に注力されています。



本講演では，鐵触媒を活用したクロスカップリング型の炭素－炭素結合および炭素－窒素結合生成反応の開発と，医薬品や有機電子材料などの合成への応用，ならびに，木質バイオマス資源（特にスギなどの針葉樹，ユーカリなどのパルプ原料樹）の分解反応による有用分子・化合物の合成（Synthetic Resolutionなんて呼びたい…）について，研究成果をご紹介します。

問合せ先：中村浩之 内線5244